

山梨県教育大綱（前文）（骨子案）

私は、10年先、20年先を見越した上で「今」を築く。その積み重ねにより、今日より明日が良くなるという確かで安心できる環境を創り、「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を実現して参ります。

そのために、子供たち一人一人に丁寧に向き合い、その能力や個性に寄り添ったきめ細かな教育環境の整備に、全力で取り組んで参りました。今後も、この取組を更に前へ進めなければなりません。

本県で育つ子供たちは誰でも、どのような境遇や経済状況にあっても、誰一人取り残されることなく、希望と夢に邁進できる、そんなふるさとのであって欲しい。その願いを、充実した教育環境の実現に込め、未来を担う子供たちが、将来、地域のたくましい担い手となって活躍できる山梨県となるよう、それぞれの個性に応じた、きめ細かく質の高い教育を受けられる環境の実現を目指します。また、人生100年時代を見据えた生涯学習の充実を図り、誰もが生涯のあらゆる場面で学びにアクセスできる社会を実現して参ります。

そこで、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の方針となる教育大綱において、私が特に重点的に進める教育施策の方針を、皆様にお示ししたいと思えます。

- 未来を生きる子供に必要な力を育む教育の推進
- 誰もが可能性を伸ばすことができる教育の推進
- 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- 学校を取り巻く教育環境の整備

こうした私の思いは、「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く やまなしの人づくり ～誰もが教育の機会にアクセスできるやまなし～」を基本理念とした山梨県教育振興基本計画に施策としてお示ししました。

施策の実施に当たっては、教育委員会としっかりタッグを組み、国や市町村、関係団体、地域の皆様との力強いパートナーシップによるオール山梨体制を築き取り組んで参ります。

令和6年 月

山梨県知事 長崎 幸太郎